

中学部での教科等横断的な取り組みについて

I. はじめに

生徒と教員が一緒に楽しい学校生活を創っていくために、生徒たちの興味関心を大切にしながら、各教科等での学びが主体的な活動として発揮された特別活動等の実践を報告する。

II. 実践報告

実践1 「スイカを作りたい！」

作業・数学・理科、体育における実践。
作業で「スイカを育ててみたい」という1人の生徒の発言から始まり、数学では長さの計測、理科では物の重さの学習と繋げて取り組んだ。最後は水泳授業の中で「スイカ割り大会」を実施した。



実践2 「アロハ?！」

音楽・美術における実践。修学旅行先がハワイリゾートをイメージさせる場所であったため、音楽ではハワイの音楽、美術ではウクレレ作りをメインに学習計画を立てた。教科での学びが特別活動の中で発揮された実践である。



実践3 「ハロウィンだ！」

コロナ下で始まった特別活動で、今年度が3年目の実践。仮装の準備は美術や学年活動等で取り組んだ。当日は生徒も教員も好きな仮装を楽しみランウェイを歩いた。積極的に取り組む姿勢や、各学年で段階的に異なる生徒の様子も見られた。



III. 実践を振り返って

3つの実践において、「生きる力」の中でも、特に「主体性」が育つために必要であったと考える内容についてまとめた。「生徒の興味関心から授業を展開すること」、「教員も一緒に楽しそうに参加すること」、「毎年恒例の活動を展開すること」、そしてこれらの要素が教科横断的な学びの中で「自分が主体となって生きていく力」につながっていることがわかった。

IV. 引用・参考文献

文部科学省 2017 中学校学習指導要領

文部科学省 2017 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 総則編